



— 本日のプログラム —

- ◆ロータリーソング『それでこそロータリー』
- ◆卓話 次年度各委員会による家庭集会

第2848回例会（3月14日）報告

司会 曾又博史 S A A 委員長

- ◆開会点鐘 石橋賢良会長
- ◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆誕生日祝い（3月） 大西哲雄親睦活動委員長
・5日 田谷昭宏会員 ・19日 道端幸雄会員



◆会長の時間 石橋賢良会長

資本主義経済社会は、分業を通じて発展して来たものであります。イギリスのグラスゴー大学教授アダム・スミスの著書、経済学のバイブルといわれる国富論の冒頭に出てくるのが実は分業なのであります。

現在、資本主義経済社会は、分業によって効率を高めて行くところから、簡単な商品を生産する場合でも、下請との関係を持たない会社は殆どないと言えます。自動車一台作るにしても、部品などは専門家に任せられた方が良質なものを安く作ることが出来ることを考えて、人間は分業に分業を重ねて来たのであります。

ところが、分業の当事者、即ち親会社と下請との関係を見ると、力のバランスが崩れていて、資本力は、原則として親会社の方が強いのであります。

したがって、大資本は益々大きくなって行くのであって、この点がマルクスの言う『資本の論理は力の論理』ということになるのであります。

そこで、ローマの格言に『人は人にとって狼である』と言われているように、人間ほど恐ろしいものはないのであって、力の強い者が弱い者を犠牲にして行くのであります。ここにマルクス・レーニン主義の出てくる一つの原因があるのであります。

マルクス主義は、このアンバランスを国家権力によって調整しようとする発想であって、権力によって解決しようとする点が倫理運動としてのロータリーとしては、納得できないのであります。ロータリーは、倫理運動の立場から、このアンバランスを徳の力によって調整しようとするものなのであります。

徳というものは、日に見えないものであります。金銭では測ることの出来ないほど価値のあるものであります。

徳の力を一枚入れる、これが倫理運動たるロータリーの考え方でありまして、この考え方から、二つの倫理原

則を出すことができます。

第一に『利益の適正分配の原則』、第二に『賄賂禁止の原則』であります。

◆幹事報告 大向洋紀幹事

・次週3月21日(火)の例会は、法定休日（春分の日）の為休会となります。また、3月28日(火)の例会は、ホテルこうしゅうえんでの開催となりますので、お間違えのないようにお願いします。

◆出席報告 寺西堅太出席・ニコニコBOX委員

3月14日の暫定出席率：82.76%

（出席24名、欠席5名）

2月28日の確定出席率：100%

（出席23名、欠席6名、メイク加算6名）

◆ニコニコBOX報告 寺西堅太委員長

・公共イメージ委員会・刀裨正章委員長、委員会の皆さん、勉強会よろしくお願ひします。 石橋賢良会長

・2週続けての欠席申し訳ありませんでした。刀裨さん本日の勉強会よろしく。私にも分かる様にお願ひします。

大向洋紀会員

・刀裨さん、公共イメージを勉強させてもらいます。

大西哲雄会員

・刀裨さん卓話楽しみにしています。 田谷昭宏会員

・刀裨さん卓話楽しみです。公共イメージ委員長のお話で勉強になります。 古川 豊会員

・刀裨さん勉強会宜しくお願ひします。徳野喜一郎会員

・2023ワールド・ベースボール・クラシック「韓国 VS 日本」を観戦してきました。 曾又博史会員

・誕生日祝いありがとうございます。還暦を迎えました。

田谷昭宏会員

・あと何年、命が有るのでしょうかね？お祝ひありがとうございます。

道端幸雄会員

◆卓話 刀裨正章公共イメージ委員長

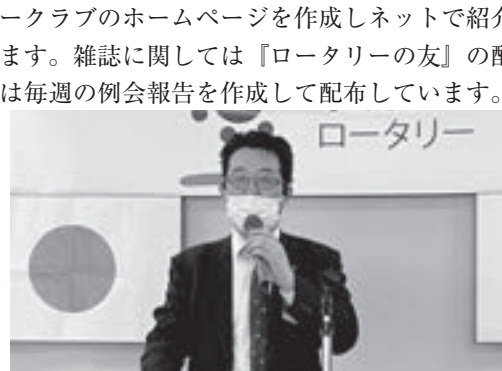
テーマ『公共イメージ委員会による勉強会』

公共イメージ委員会は、広報・雑誌・会報の3部門の

活動を行います。広報に関しては、広報チラシ『輪島ロータリークラブだより』を年1回発行し、また、輪島ロータリークラブのホームページを作成しネットで紹介して

おります。雑誌に関しては『ロータリーの友』の配布、

会報は毎週の例会報告を作成して配布しています。



◆閉会点鐘 石橋賢良会長

〔編集：古川 豊会員〕